

## 研究協力をお願い

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

甲状腺腫瘍の臨床病理学および分子病理学的検討
<b>1. 研究の対象および研究対象期間</b> 2020年4月から2022年3月までに、昭和大学藤が丘病院臨床病理診断科で診断された甲状腺疾患の患者さん
<b>2. 研究目的・方法</b> がんゲノム医療の進歩により甲状腺腫瘍においても BRAF 阻害薬が応用されてきています。ゲノム医療には遺伝子解析は必須ですが、未だ進行中であり腫瘍の分子基盤は完全に解明されてはいません。この研究では既に採取された甲状腺腫瘍細胞あるいは組織を用いて遺伝子解析を行い腫瘍の原因となる遺伝子解析のみならず転移を起こす原因となる遺伝子を探索し次世代のがんゲノム医療の発展に寄与することを目的としています。遺伝子解析は当科で1990年代後半から行ってきた方法を使用します。 <b>研究期間</b> 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究機関の長の研究実施許可を得てから、2025年3月31日まで
<b>3. 研究に用いる試料・情報の種類</b> 病理標本（病理組織ガラス標本、細胞診標本、病理組織ホルマリン固定パラフィン包埋ブロック等） （患者さんから新たな検体の採取をお願いすることはありません）診療録情報は使用しません。
<b>4. お問い合わせ先</b> 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属：昭和大学藤が丘病院 臨床病理診断科 氏名：楯 玄秀 住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30 電話番号：045-971-1151（院内携帯 5354） 研究責任者：昭和大学藤が丘病院 臨床病理診断科 楯 玄秀